

## コラム 2015年度冬合宿

2015年12月15～17日に冬合宿が行われました。城崎温泉を経由して出雲大社を目指し、サンライズ出雲で東京に帰ってくるというものです。このコラムではその旅行記を筆者目線で書きました。

**一日目** 東京駅—沼津駅—浜松駅—豊橋駅—大垣駅—米原駅—京都駅—園部駅—福知山駅—豊岡駅—城崎温泉駅

5:46 東京発の東海道線で出発。大船あたりでは気付けば暗かった外も明るくなっていました。東海道本線を京都目指して西に進み、京都から山陰本線に移って城崎温泉を目指すルートで、1,2時間乗車したら乗り換えの連続でした。富士山、茶畑、名古屋のビル群、京都タワー、嵐山、保津峡など、目まぐるしく変わる車窓はとても楽しいものでした。ですが、新幹線に何本も抜かれると、少し悲しい気もしました。東京駅から城崎温泉到着までにかかった時間は13時間30分。うち乗車時間11時間17分にもものぼります。移動距離は671.6キロでした。筆者は初めて青春18きっぷを使用したのですが、かなり洗礼を浴びました。城崎温泉では温泉めぐりを敢行。非常に気持ち良かったです。某議員が通い詰めた(?)だけあります。



**二日目** 城崎温泉駅—鳥取駅—米子駅—出雲市駅—（一畑電鉄）—出雲大社前—川跡—出雲市駅—サンライズ出雲—東京駅（三日目）

城崎温泉駅から出雲大社に向け出発。山陰本線で日本海沿いをひたすら西に進みます。、たらこ色の気動車、快速とっとりライナー、そしてファンの間では「末期色」として名高い黄色の電車に乗り、出雲市に到着。ここから一畑電鉄に乗り、ついに目的地である出雲大社前駅に到着しました。早速出雲大社にお参りにと思いきや、ここは鉄研、先に近くにある旧大社駅という国鉄の廃駅に行ったのでした。その後出雲大社へ。神様が集う場所、厳かな雰囲気がありました。

再び出雲市駅に戻り、ついにこの旅の集大成、サンライズ出雲に乗車です。私たちはノビノビ座席という寝台料金なしで乗れる代わりに横になるスペースしかない、そんな席を使

用しました。横になれるだけで快適でした。列車は19時ごろ出雲市駅を出発。深い山中を走る伯備線をのんびり進みます。そして22時半ごろに岡山駅に着き、高松からやってきたサンライズ瀬戸と連結したら、山陽本線と東海道本線を爆走し一路東京駅を目指します。絶対寝ないと思っていた筆者も、心地よい揺れに負けついに京都あたりで寝てしまいました。起きたらすぐ東京だろうな。そう思って・・・

目が覚めました。止まっています。外を見たら豊橋駅でした。時計を見たらだいたい5時。本来なら静岡をこえてなければいけない時間のはずでした。なんと先行する貨物列車が人身事故を起こしたせいで1時間ほど遅れていたのです。再び走りをはじめ、急いでいる人は熱海駅で新幹線に乗り換えできると放送が入りましたが、急ぎではないのでこのまま東京駅まで行きました。本来東海道線を走るはずが、遅延の関係で貨物線を走ることに。貨物線は東戸塚あたりで本線と別れて鶴見あたりで合流する、本来旅客列車が通らない路線です。いい経験だったかもしれません。波乱もありましたが9時ごろ東京駅に着きました。長いようで短かった合宿。抜けない余韻の中、帰路につきました。

